

400年前に

八代を襲った大地震を知っていますか

、麦島城崩壊から400年、

今年4月で、平成28年熊本地震から3年を迎えます。この地震では本市でも多くの人が被災し、国史跡である八代城跡の石垣も一部が崩れました。この熊本地震の発生まで、400年前に麦島城を崩壊させた地震が注目されることはありませんでした。熊本地震から3年、麦島城を崩壊させた地震から400年を迎える今年、郷土で発生した地震の歴史を学んでみませんか。

地震で崩壊した麦島城

市内に伝わる古文書に、こんな一節が記されています。

「三月十七日、大地、振動す。山鳴り、谷応え、潮翻り、水沸き、城郭崩壊、基階頽毀す。（3月17日、大地が激しく揺れ、山が崩れ、谷も崩れた。津波が起こり、液状化が起こった。城の櫓や建物も倒れ、城の石垣も崩れ落ちた）」

この古文書は、今から400年前の1619年3月17日（旧暦現在の4月中旬から下旬、今年は4月21日に該当）に、八代地域で発生した大地震によって麦島城が崩壊した時の記録です。麦島城は再建されず、新たに八代城が築かれることとなりました。政府の地

震調査研究推進本部によると、この時の地震は日奈久断層帯周辺を震源とするマグニチュード6・2だったと推定されています。

姿を現した麦島城

本市では、平成8、10、15年度まで都市計画道路建設などに伴い、麦島城の発掘調査を実施しました。

二の丸堀跡では、400年前の地震で倒壊した平櫓が見つかりました。見つかった平櫓の部材を上げると、平櫓の屋根はひっくり返り、壁は堀底に横倒しとなり、柱や貫は全て折れるなど、地震の大きさを物語る光景が広がっていました。

また、発掘された麦島城の石垣は上部や隅が失われており、地震

麦島城とは

麦島城は1588年にキリシタン大名の^{こにしゆきが}小西行長が築いた九州最古の近世城郭の一つです。古城町一帯に所在し、堀を含めて東西南北約400mの広さがありました。現在、天守台と、本丸の一部が国史跡になっています。



▲昭和23年の麦島城（GHQ撮影航空写真、国土地理院所蔵）
※写真に麦島城の縄張図（想定）と都市計画道路の位置等を重ねています。

で崩れたと考えられています。

このように、発掘された麦島城は古文書に記された「櫓や建物も倒れ、城の石垣も崩れ落ちた」という記録と一致しており、地震による被害の大きさを物語るものでした。

※麦島城の平櫓は保存処理をした後、その一部を麦島コミュニティセンターで展示しています。また、熊本県立美術館の特別展でも展示しています。

繰り返される地震の被害

麦島城が地震で崩れ落ちた6年後の1625年、今度は同じ日奈久断層の北側を震源とする地震が

地震の歴史を学び、伝えていこう

先人たちは地震の記録を後世に伝えてきました。私たちはその記録を受け取り、防災に活かすことが必要です。さらに、私たちが熊本地震で体験した地震の恐ろしさ、災害への備え、復旧復興の取り組みなども後世に伝えていかなければなりません。

まちづくり出前講座では、地震の歴史や麦島城についても学ぶことができます。この機会にぜひ利用ください。

一人一人が過去の地震から教訓を学び、備え、伝えていくことが未来の防災へつながっていきます。



3/16(土)「麦島城崩壊400年記念イベント」



400年前に八代地域を襲った大地震を歴史の教訓として将来の災害に備えるために、麦島城崩壊400年記念イベントが麦島コミュニティセンターで行われ、約200人が参加しました。

記念講演会では、市立博物館の鳥津亮二学芸員が「八代の地震と麦島城」と題して、麦島城跡の歴史と文化、そして防災について講演。「過去を学び、地震がきたらどうするか想定して備えてほしい」と話すと、参加者らは熱心に聞き入っていました。

麦島住民自治協議会



会長 堀本 一奉さん

地震で倒れたとされる建物一棟がほぼそのままの状態で見えたのは、全国でも珍しく貴重なものです。ぜひ、多くの人に実際に資料を見てもらい、麦島城について知ってほしいです。

講演を聞いて



中村 茂夫さん（迎町）

近年は災害を忘れてはいけな時代に入っており、個人で行う防災をしていかなければならないと改めて思いました。